

当院血液・腫瘍内科において過去に自家末梢血幹細胞採取を

受けられた患者さんへのお知らせ

当科では、自家移植の適応のある患者さんから採取された末梢血幹細胞を、簡易凍結法により -80°C のフリーザーで凍結保存してきました。この方法では細胞凍害保護液を使用して細胞を凍結保存しますが、保護液の技術情報によりますと、推奨される保管期間は -80°C では1年程度とされています。

当科としても長期に保管して使うことは想定しておりませんでした。保管期間についての取り決めがなかったため、患者さんの病状の変化やその他の理由で使用されなかった細胞が、長期間保存されたままになってきました。長期間 -80°C におかれた凍結細胞は劣化して増殖能が低下している可能性が高く、これらの細胞を今後実際に移植に使用するのとはきわめて困難と考えられます。

フリーザーの保管スペースは限られています。このため2年以上経過した検体については、本年5月末までにお問い合わせがない場合には、適切な方法で廃棄処分させていただくことと致しました。保管を希望される場合には、別途ご相談させていただきます。

よろしくお願い申し上げます。